

特集 県内主要発注企業外注ニーズ調査結果

生産概況で「減少」とする品目が増加し、
見通しも輸送機器、電子部品などの分野で生産減か。

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。
受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

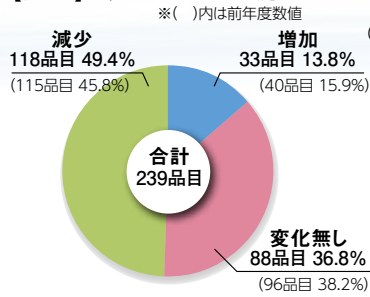
県内発注企業の生産状況

① 現況

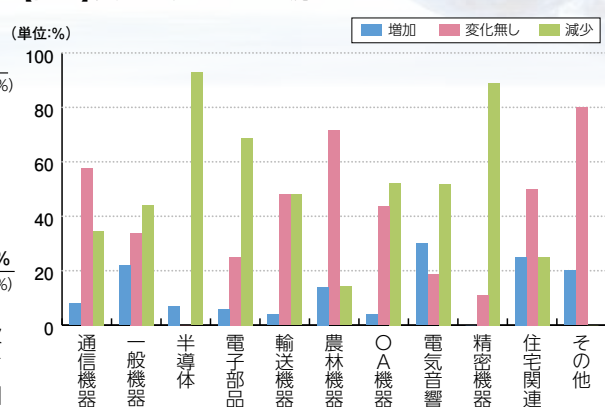
回答企業数93社の生産概況を生産品目総数239品目についてみると、生産高(前年比)を「増加」とする品目が33品目13.8%(前年度40品目15.9%)、「変化なし」が88品目36.8%(前年度96品目38.2%)、「減少」が118品目49.4%(前年度115品目45.8%)となっており、前年度と比較して「増加」が7品目2.1ㇰ減少、「変化なし」が8品目1.4ㇰ減少、「減少」が3品目3.6ㇰ増加している【図-1】

これを製造分野別にみると、「増加」は電気音響が29.6%(前年度13.8%)で最も高く、次いで住宅関連が25.0%(前年度20.0%)となっている。「変化なし」は農林機器が71.4%(前年度57.1%)で最も高く、次いで通信機器が57.7%(前年度31.8%)となっている。「減少」は半導体が92.9%(前年度57.1%)で最も高く、次いで精密機器が88.9%(前年度41.2%)となっている。【図-2】

【図-1】生産品目でみる現況



【図-2】製造分野別でみる現況

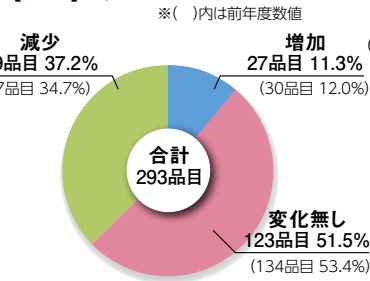


② 見通し

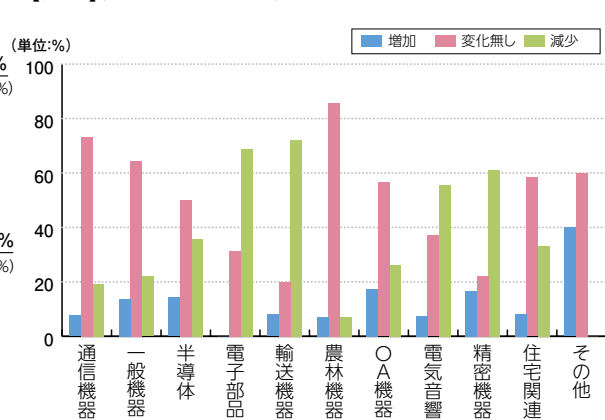
今後の見通しを生産品目総数239品目についてみると、「増加」が27品目11.3%(前年度30品目12.0%)、「変化なし」が123品目51.5%(前年度134品目53.4%)、「減少」が89品目37.2%(前年度87品目34.7%)となっており、前年度と比較して「増加」が3品目0.7ㇰ減少、「変化なし」が11品目1.9ㇰ減少、「減少」が2品目2.5ㇰ増加している。(図-3)【図-3】

これを製造分野別にみると、「増加」はOA機器が17.4%(前年度10.0%)で最も高く、次いで精密機器が16.7%(前年度23.5%)となっている。「変化なし」は農林機器が85.7%(前年度71.4%)で最も高く、次いで通信機器が73.1%(前年度22.7%)となっている。「減少」は輸送機器が72.0%(前年度40.0%)で最も高く、次いで電子部品が68.8%(前年度60.9%)となっている。【図-4】

【図-3】生産品目でみる見通し



【図-4】製造分野別でみる見通し



県内発注企業の外注状況

① 外注企業数

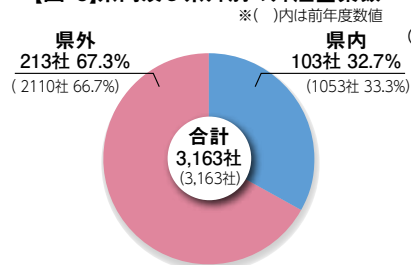
回答企業93社が外注している企業数は3,173社(延べ数、以下同じ)あり、これを県内及び県外別でみると、「県内」が1,037社で32.7%(前年度1,053社33.3%)、「県外」が2,136社で67.3%(前年度2,110社66.7%)となっており、前年度と比較して「県内」の割合が若干減少している。【図-5】

これを製造分野別にみると、精密機器が826社で最も多く、次いで一般機器が689社、OA機器が352社となっている。

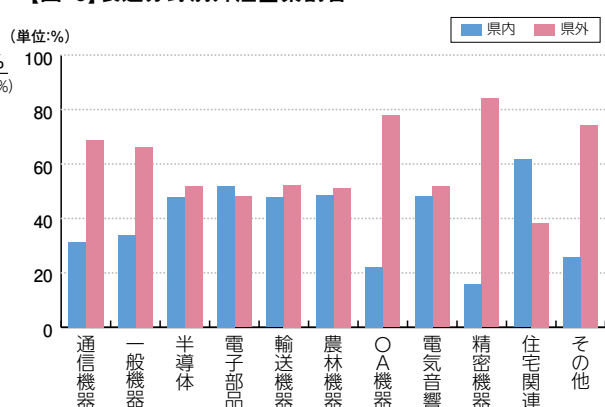
さらに県内及び県外別で県内への外注割合が高い製造分野は、住宅関連の29社61.7%、電子部品の80社51.9%、農林機器の95社48.7%となっている。

逆に県外への外注割合が高い製造分野は、精密機器の695社84.1%、OA機器の274社77.8%、通信機器の160社68.7%となっている。【図-6】

【図-5】県内及び県外別の外注企業数



【図-6】製造分野別外注企業割合



② 外注金額

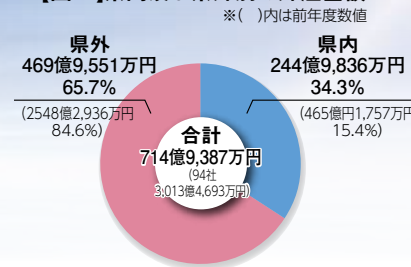
回答企業93社の1年間での外注金額は、714億9,387万円(前年度は94社3,013億4,693万円)となっている。*

このうち県内への外注は244億9,836万円で34.3%(前年度465億1,757万円15.4%)、県外への外注は469億9,551万円で65.7%(前年度2,548億2,936万円84.6%)となっている。【図-7】

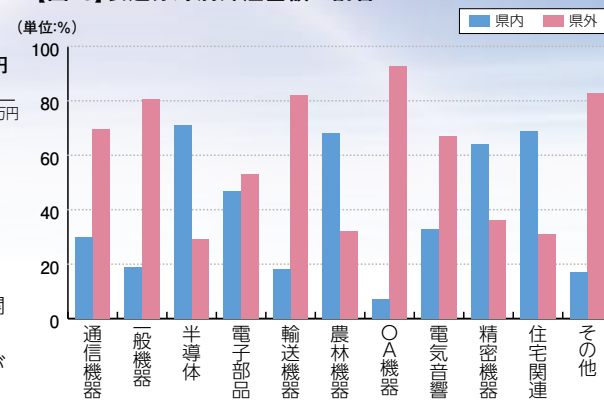
これを製造分野別にみると、県内への外注は半導体が70.8%で最も高く、次いで住宅関連が69.1%、農林機器が67.7%となっている。

一方、県外への外注についてみると、OA機器が92.8%で最も高く、次いで輸送機器が82.1%、一般機器が80.7%となっている。【図-8】

【図-7】県内及び県外別の外注金額



【図-8】製造分野別外注金額の割合

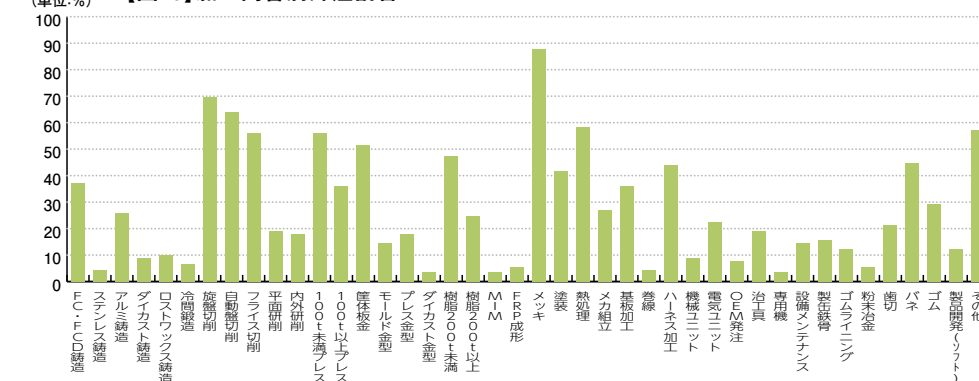


外注している加工内容

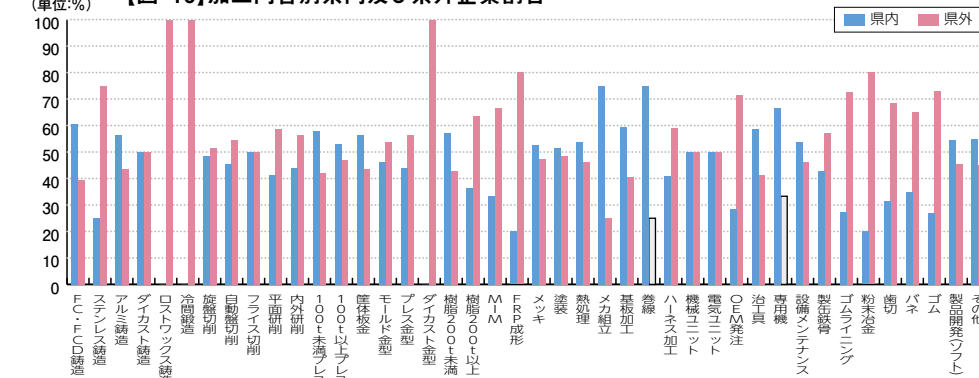
回答企業93社が外注している加工内容をみると、「メッキ」が78社87.6%と最も高く、次いで「旋盤切削」の62社69.7%、「自動盤」の57社64.0%となっている。【図-9】

これを県内及び県外別にみると、県内へは「メカ組立」及び「巻線」が75.0%で最も高く、次いで「専用機」が66.7%、「FC・FCD casting」が60.6%となっている。県外へは「ロストワックス casting」「冷間鍛造」及び「ダイカスト金型」が100.0%で最も高く、次いで「FRP成形」及び「粉末冶金」が80.0%、「ゴムライニング」が72.7%となっている。【図-10】

【図-9】加工内容別外注割合



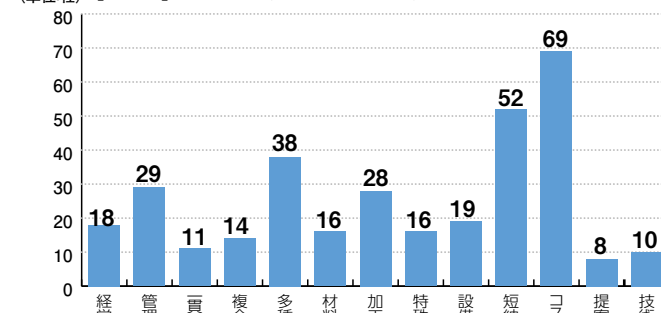
【図-10】加工内容別県内及び県外企業割合



県内発注企業からの県内受注企業に求められる課題

県内の発注企業が、現在、県外の企業に外注している案件について、県内の企業に切替えるとした場合に求められる課題は、「コストダウンへの対応力」が69社(77.5%)、「短納期化への対応力」が52社(58.4%)、「多産少量生産への対応力」38社(42.7%)、「管理体制のレベル」29社(32.6%)、「加工精度」28社(31.5%)となっている。【図-11】

【図-11】外注企業(県内受注企業)に求められる課題



お問い合わせ

ものづくり振興グループ
TEL 019-631-3822
FAX 019-631-3830